

平成3年 WHEEL HOUSE, CONTROL ROOM

1. 「BERGE COMMANDER」(ベガ コマダ) 「船の科学」1991-6 (Vol.44, No.6) より採取。
- ・78,000 m³ 型多目的液化ガス運搬船「BERGE COMMANDER」 DWT 56,875 t, タンク容量 78,543 m³
 - 貨物は プロパン、ブタン、アンモニア、ナフサなど、GMDSS (新無線装置、 Global Maritime Distress and Safety System) の適用第1船、 主機関 省燃費型低速ディーゼル(連続最大) 17,780 PS (101 rpm)
 - コンピュータを用いた分散型制御・監視システムが採用されていて、貨物関係の機器および機関関係の機器の制御・監視は居住区内の ECCR および操舵室でできるようになっている。ECCR には CRT + Keyboard が4台、操舵室、機関室に各1台設けられている。(ECCR : Engine and Cargo Control Room)
 - ・船主 : Partrederiet Berge Commander ANS (Norway) ・建造 : NKK 津製作所 平成3年3月26日 竣工
 - ・1) は本船全景、2) は操舵室、レーダ指示機と監視・制御システムが見える。

1) W66-01 BERGE COMMANDER 本船全景



2) W66-02 BERGE COMMANDER 操舵室



2. 「OLYMPIC SERENITY」 「船の科学」1991-7 (Vol.44, No.7) より採取。

- ・95型ダブルハル・タンカー「OLYMPIC SERENITY」 DWT 96,733 t
- 米国の1990年油濁防止法の発効以後初めて引渡されたダブルハル・タンカーである。
- 主機関 超ロングストローク2サイクルディーゼル機関 出力(連続最大) 14,200 PS 103 rpm
- ・機関部の監視装置用 CRT は機関制御室のほか機関長室にも設けられている。

3) W66-03 OLYMPIC SERENITY 本船全景



4) W66-04 OLYMPIC SERENITY 操舵室



5) W66-05 同左 荷役制御室



- ・船主 : Dover Marine Panama S.A.(Greece)
- ・建造 : 住友重機械工業(株) 追浜造船所 平成3年3月27日 竣工
- ・3)は本船全景、4)は操舵室、5)は荷役制御室。

3. 「SALAMINA」(サラミナ) 「船の科学」1991-7 (Vol.44, No.7) より採取。

- ・新世代のプロダクト・オイルキャリア M/T 「SALAMINA」 DWT 40,280 t
EPOCH Mark 適用の第1船 (Easy Handling / Maintenance Product Oil Carrier by Hitachi Zosen)
(荷役と保守の効率向上を目的として開発されたシステム)
- ・船主 : Salamina Shipping Corp.(Greece) ・建造 : 日立造船(株) 舞鶴工場 平成3年3月22日 竣工
- ・6)は本船全景、7)は機関制御室。

6) W66-06 SALAMINA 本船全景



7) W66-07 SALAMINA 機関制御室



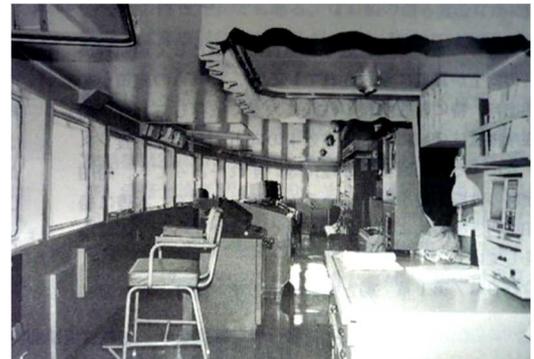
4. 「四万十川」 「船の科学」1991-9 (Vol.44, No.9) より採取。

- ・新造クルージング・フェリー(699T型旅客330名)「四万十川」
旅客 1等20名、2等155名、ベンチ席155名 計330名 車輛搭載台数 大型トラック4台
中型トラック4台、乗用車10台、主機関1,400PS 900/276rpm 2基
航海速力14.4kn, プロペラ5翼2軸 CPP付き
- ・船主 : 船舶整備公団、瀬戸内海汽船(株) ・建造 : (株)神田造船所 平成3年6月25日 竣工
- ・8)は本船全景、9)は操舵室。

8) W66-08 四万十川 本船全景



9) W66-09 四万十川 操舵室



5. 「にいぬふぁぶし」(北極星のこと) 「船の科学」1991-10 (Vol.44, No.10) より採取。

- ・軽合金製高速旅客船「にいぬふぁぶし」総トン数96T, 航路 石垣島-西表島、乗組員4名、旅客150名
主機関出力825PS(2,170rpm)×3、推進器 ハミルトン ウォータジェット422型×3、ジョイスティック・
コントロール付き、速力(試運転最大)35.5kn、(航海)30.0kn
- ・船主 : 沖縄県離島海運振興(株) ・建造 : (株)強力造船所 平成3年1月19日 竣工

・ 10) は本船全景、 11) は操舵室。

10) W66 - 10 にいぬふあぶし 本船全景



11) W66 - 11 にいぬふあぶし 操舵室



6 . 「FRANCES L」 「船の科学」 1991 - 10 (Vol. 44, No.11) より採取。

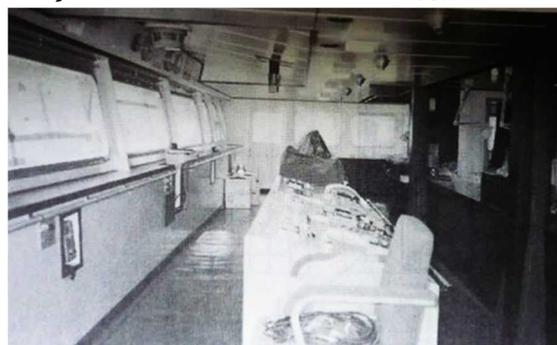
- ・世界最大級 434 TEU 型冷凍コンテナ専用船、 DWT 15,646 t, コンテナ積載数 (43' コンテナ) 434 個、アメリカ東岸 ~ 中南米間を航走、フルーツを運ぶためコンテナは特殊サイズとなっている。フルーツの鮮度を保つため高速が必要で、そのため、やせ型船型、大出力主機 (19,040PS × 94.7rpm) を採用、また冷凍コンテナに給電するため、大出力発電機 6 台 (960kw × 2, 1,750kw × 4) が装備された。 速力 (満載航海) 21.5 kn
- ・船主 : CRH Shipping Ltd. (Bermuda) ・建造 : 常石造船所 (株) 平成 3 年 1 月 18 日 竣工

・ 12) は本船全景、 13) は操舵室

12) W66 - 12 FRANCES L 本船全景



13) W66 - 13 FRANCES L 操舵室



7 . 「飛鳥」 「船の科学」 1992 - 1 (Vol.45, No.1) より採取。

- ・日本最大の豪華クルーズ船、
総トン数 28,717 T, 定員 (旅客) 584 人
(乗組員) ab.240 人
速力 航海速力 21.0 kn
推進方式 : 中速ディーゼル機関で減速
ギヤを介して CPP, 2機 2軸
- ・船主 : 日本郵船 (株)
- ・建造 : 三菱重工業 (株) 長崎造船所
平成 3 年 1 月 23 日 竣工
(操舵室の写真はないが、日本人向けの豪華クルーズ船とのことで本船の写真を収録した。)

14) W66 - 14 飛鳥 本船全景



8 . 「開洋丸」 「船の科学」 1992 - 1 (Vol.45, No.1) より採取。

- ・最新鋭 2500T 型漁業調査船 総トン数 2,630 T, 航海速力 ab17 kn
海洋環境や水産物資源の調査や保護を主目的としている。操舵室内には多数のコンピュータやディスプレイが並び

